

会 議 記 録

会議名称	平成 27 年度 第 4 回北本市環境審議会
開会及び 開会日時	平成 27 年 10 月 29 日 (木) 午後 3 時 00 分から 5 時 00 分
開会場所	北本市文化センター第 3 研修室
議長氏名	会長 堂本 泰章
出席 委員(者) 氏 名	堂本 泰章 白川 容子 伊藤 宏忠 齋藤 叔久 最上 民夫 今関 公美 滝瀬 光一 浅野 昭八 猪俣 孝一 桑原 章郎
欠席 委員(者) 氏 名	福森 秀臣 荻島 和美 矢口 光一 金子 千之 中村 洋子
説明者の 職 氏 名	環境政策・衛生担当主幹 中根 武 委託業者 (株)ジ・オール・プランニング・チーム 山本)
事務局職 員職氏名	くらし安全課長 長島 良和 環境政策・衛生担当主幹 中根 武 環境政策・衛生担当主事 小島 有香子
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 議事 第二次北本市環境基本計画の骨子案について</li> <li>4 閉会</li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・第二次北本市環境基本計画骨子 (案) について【事前配布】</li> </ul>

会 議 記 録

発言者	発 言 内 容
	1 開 会
	2 あいさつ 堂本会長、市長よりあいさつ ー省略ー
	3 議 事
	(1)第二次北本市環境基本計画骨子案について
堂本会長	事前に第二次北本環境基本計画骨子案が配られていると思います。骨子案の概略やポイントの説明を事務局からお願いします。
事務局	前回までの環境審議会において、「望ましい環境像」や「長期的目標」などの重要な基本方針についてご審議いただきました。今回お配りした骨子案はそれらをもとに作成しました。細かな言い回しなどは事務局で改めて精査して直していきますので、今日は、内容とか大きな観点から、ご意見をいただければと思っています。
	＜以下、資料の説明、略＞
堂本会長	今日は、骨子案についてのご質問や意見を忌憚なく出していただき、それを事務局の方でもう一回整理して素案を作り、次回の環境審議会の直前に素案を送っていただくこととなります。さっそく資料についてご質問や意見はありますか。
斎藤委員	環境調整会議とは内容的にどのようなものですか。
事務局	環境調整会議は市の内部の組織で、くらし安全課が事務局になっています。会議のメンバーは副市長、各部の部長が委員になっています。
浅野委員	第一点は、2ページの計画策定の背景、最後の4段ですが、「これからの環境施策の方向を定め、国・県・近隣市町の取り組みと連携しながら、適切に推進していくために、全面的に改定を行う。」となっています。この全面的改定という事についてですが、新たな環境課題や社会情勢への対応を図って行くために、これからの環境施策の方向性というものを明確にすべきではないでしょうか。
堂本会長	第二点としては、内閣府の資料をみると、北本と同じように環境の問題について非常に市民意識が低いことがわかります。北本市では5年前に自治基本条例を市民が手弁当で作り、行政の方に出しました。ここでは環境基本計画で市民の役割・市の役割がいっぱい書いてありますが、実際にどこの部署でやるのかということが分かりにくいと思います。特定の人だけでなく、7万市民全員が環境問題を考えるようになることが重要であり、そういった情報発信についても、ここに謳っていく必要があると思います。
堂本会長	これまでの環境基本計画について市民の認識が低かったことがあります。そこを反省して市民に届く環境基本計画でありたいし、中身にしていこうということは共通認識として持っているので、そういった考え方はきっちりと盛り込んでいけるのかなと思います。
白川副会長	施策が20項目あり、これを誰が行うのかということがかなり重要になってくると思うのですが、これらを実施して行く上での担当部署が具体的に書いてないと、絵に描いた餅で終わってしまうと思います。
堂本会長	先ほども話が出ていましたが、計画の中でこの施策は市のどのポジションがやるのか、そういったところも分かるようにしなくてはいけないと思います。
中村委員	第一章の「環境基本計画がなぜ必要なの」の文章の中に「循環型社会を創り、将来の世代に引き継いでいく」とありますが、循環型社会を一気に創って行く事は相当大変なことだろうと思います。どういう所から手を付けていって、循環型社会に持って行くのかという所は、

## 会 議 記 録

この計画の中でどこかに出てくるのでしょうか。

主婦の立場で話をすると、ゴミを出すときに枝や落ち葉が生ごみと一緒に燃やされてしまうことが気になります。議会で一回発言した事があったのですが、そういったものは月一回枝の回収日を設けて、それをチップにするとか土に返していく事がどうして出来ないのだろうかと思っています。やはり循環にしていけるのであればゴミを減らすことも含めて、土に返していく方向で、その回収方法から市民が努力して解決していける一つの手立てだと思っているのです。

堂本会長

その循環型社会関連するのが、例えば 40 ページのもったいないプロジェクトになると思います。そこに何かキーワードを入れることもできますね。

今日いただいているものは骨子案ですし、特徴のある踏み込んだことが書いてないと思います。短い時間の中で皆さんの合意を得て、踏み込んで書くことは難しいと思いますから、逆に言えばこの計画の中に根っこを入れておく、種を蒔いておくことは必要であると思います。そういった点でご指摘いただいたと考えます。

事務局

先ほどからご意見がありましたが、まだどこの課がやるのかとは書いてないのですが、後ろにもう一章付け加えて、施策の体系ごとにどこの課が所管するのかといった一覧を載せていきたいと考えています。

斎藤委員

文章を読んで、リサイクルは分かりますが、リデュース・リユースについてはわかりやすい言葉に変えていただきたいです。

堂本会長

用語は一般化しているものと一般化してないものがあり、それをすべて日本語で分かりやすく表現すると文章的に書き込めないと思います。そのため、どうしても噛み砕いた表現ができない部分については、最後に用語の解説という形で入れます。出来るだけ文章の中で分かりやすい言葉に置き換える努力はされていると思いますし、今のご意見を踏まえてやっていただけるとと思います。ある程度ページ数が限られている計画書なので、ご理解いただきたいと思います。

斎藤委員

リデュースの解説の中には、ゴミの発生を抑制すると書いてありますが、ゴミを出さないと書いた方が分かりやすいし、ゴミを減らすとか、繰り返し使用するというのがリユースと括弧書きしているの、繰り返しして使用するというのであれば、再利用などの分かりやすい言葉で解説してもらった方が良いかと思います。

堂本会長

全体を通しての構成などを見て、何かご意見ございますか。私はこの構成を見てかなりしっくりきていると思うのですが、いかがですか。

最上委員

計画書完成後、配布とありますが、何処に配布されるのですか。

事務局

計画書自体は、審議会や市議会のメンバー、市の内部の課長級になります。概要版は、見開き A4 版 8 ページにまとめたものを市民に全戸配布する予定です。

最上委員

会長が言われたように構成は立派だと思いますが、先ほど言ったように結局 7 万人の市民が知らないのでは意味がないですね。どうやって住民に周知するか、どうやってこの計画を実効あるものにするのか、というところを考える必要があると思います。

堂本会長

ご指摘のとおり、前回課題として残ったのが、この環境基本計画をどう市民に知ってもらうか、また、計画実施にあたりチェックする体制が市の方で構築出来なかったことです。

そのあたりを今回の計画では、「きたもと環境の環プロジェクト」の所で方向性を出していると思うのです。この「環境ネットワーク、市民の環」を具体性をもったものとして出来

## 会 議 記 録

- ないと、絵に描いた餅になるわけです。中身はどんなに立派であろうとそれでは意味がないので、そうならないように一番大事なところは、協働プロジェクトをどう意味のあるものにするかだと思います。
- 最上委員 私は自治会長をしているのですが、自治会からの充て職のような形でプロジェクトに参加するのは自治会への負担が大きくなるだけです。住民が自主的に動かなければ何の価値もないと私は申し上げたいのです。
- 堂本会長 本当にその通りだと思います。ここで仕組みを作ったとしても、作れば良いものではなく、実質どう動かせるかです。逆に環境関係に関心のある団体の方や市は、そういう部分で動いてもらうように強力な活動とか、アプローチをしないと変わらないという事でもあり、そこは踏まえていきたいと思います。
- 齋藤委員 広報紙きたもとがあり、冊子が全戸に配られていますね。環境関係の記事はあまり見たことがないです。毎月出している広報紙ですから、そのうちの2～3ページで、緑と共生する意味を説明する記事を掲載するなど、市民に喚起されたらどうかと思っています。
- 堂本会長 広報紙に記事を掲載するなどの従前の手法ではなく、飛び抜けたアプローチをしない限りは前に進まないと思います。
- 齋藤委員 3月に概要版を配布するだけではなく、広報紙を活用して、北本は緑の事について緑を中心とした活動を一生懸命やっているのだと、市民に認識してもらおうということは必要なと思います。
- 白川副会長 大分前になるのですが、「一に仕事、二に健康、三に趣味、四にボランティア」という標語があり、たまたま興味があったのでボランティアに参加したと話をしていた方がおられたのを覚えています。自分の仕事や健康・趣味の他に、空いている時間を利用してボランティアに参加してくれるような呼びかけも必要なのではないのでしょうか。
- 中村委員 ゴミカレンダーは、みんな冷蔵庫に貼ってあります。それが一年に一回、年度替わりで貼っているの、緑のカレンダーというものを作って、6か月に一回とかでも緑を守る姿勢で貼ってもらえればと思います。緑のフェスティバルなどの行事も含め、緑の大切さをアピールするようなものがあれば良いですね。広報に入れるだけではなく、少しその部分でも工夫してできれば、みんなのものになっていく感じがします。
- 伊藤委員 骨子案が出来て非常に良いと思いますが、中身で何をどうするかが見えるように、一歩進める様な具体的な施策を3年計画、5年でも良いから入れられないのでしょうか。これを10年間使うので、非常に広範囲で大変だと思うのですが、その具体的なやり方を1年計画でやること、3年計画でやること、5年計画でやることなどのように総合したステップが分かるようになれば、これは出来た、これは出来なかったことが分かって来て良い計画になるのではないかと思います。
- 今関委員 インターネットでのアンケート結果を見ると、アンケートに参加してくれているのが40～49歳代と70～79歳代の方が多いのですが、その中で北本市の環境基本計画のことを知っていますかと聞いているのですが、「知らないが興味があるので知りたい」というのが一番多いです。興味がある方たちにどういったアピールするのかが、一番大切なことだと思います。興味があるのに知るすべがないと言うのが、一番の問題があります。
- また、家庭ごみでは、生ごみを堆肥にしている、たまっているのです。庭で使うのも限りがあり、畑を持っているのであれば良いですが、返す場所がなく、結局ゴミと一緒に捨て

会 議 記 録

中村委員	ています。特にマンションの人は出来た堆肥をどうしたら良いのか分からなくて結局止めてしまう人がほとんどなので、出来た堆肥を集めて使う場所も必要です。
堂本会長	それが、循環になっていけばいいですね。 そろそろ閉会の時間となりますが、後日でも構いませんので、良いアイデアがございましたら、事務局にお話してください。素案づくりに活かせるようにしたいと思います。なお、この一週間を目途にお願いします。
白川副会長	4 閉 会 あいさつ ー省略ー
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきを証するためにここに署名する。	
平成 年 月 日	
会 長	